

町では、今年も70歳以上のみなさんを招待して「敬老会」を開催しました。(後述詳細記事有り)

席上、「ダイヤモンド婚」を迎えられたご夫婦への表彰も行われ、11組(矢吹地区6組、中畑地区2組、三神地区3組)が結婚60年の節目を祝いました。

今回は、その中から各地区1組ずつのご夫婦にスポットを当て、「結婚60年の歩み」を振り返ります。

また、戦後60年である今年、それぞれのご夫婦に「戦争」というものも併せて振り返っていただき、いっしょに考えたいと思います。



高田 三朗^{三郎}さん(87歳)
トミ^{トミ}さん(84歳)
(小松在住)

昭和19年1月ご結婚

特集

それぞれの、結婚60年・・・。

～3組の「ダイヤモンド婚」夫婦に聞く～

結婚60年を迎えて・・・。
「(60年は)長かった・・・」と夫の三朗さん。「あつという間だよ。」と妻のトミさん。結婚した当時は、25歳までに結婚しないと「独身税」という税金が課せられていたそうで、とにかくその前に！と親御さんの紹介で須賀川市から嫁いできたのがトミさん。結婚後は上京し、三朗さんは徴用(戦争などの非常時に、国が国民を強制的に集めて一定の仕事に就かせること)として羽田の近くにある軍事工場に働いていました。

トミさんが第1子を妊娠中に、あの東京大空襲に遭います。(後述詳細文あり)その後、福島市に疎開。終戦後は矢吹に戻り、三朗さんは会社員として働き一家を支えましたが、お二人の実のお子さん3人に加え、海軍に入隊し戦死したお兄さんの3人の娘さんも引き取り、合わせて6人の子どもを育てることに・・・。「生活は大変でした。」と三朗さん。でも、現在はそれぞれ独立し、実のお孫さんも5人、ひ孫も2人いらっしゃいます。

Diamond Wedding



2005

case 1